

南海トラフ地震が発生！その時、管理職は、どう行動すべきか？！

「災害対策インバスケット研修」体験会を開催

— 2月27日（水）東京 / 3月7日（木）大阪にて —

シミュレーションの結果、判断や考え方を客観視することができるインバスケット（※1）を研究・開発する株式会社インバスケット研究所（本社：大阪・堺 代表取締役 鳥原隆志）は、東北大学 災害科学国際研究所 丸谷浩明教授から学術指導（※2）を受け、「南海トラフ地震（※3）」を想定したシミュレーション教材を開発しました。

2016年の熊本地震や昨年のおお阪府北部地震などをを受け、災害への意識が高まっています。しかし、実際、万一の事が起こった場合に、正しく判断ができるでしょうか？そこで、2019年3月11日、パソコンを使った本シミュレーション教材の提供を開始します。防災政策や事業継続に詳しい丸谷教授からご指導を賜り、防災に対する知識をまとめた解説が付属しています。特に、企業内でBCP（緊急時における事業継続のための計画（※4））を担当されている方や、**管理職以上の方には必須で受けていただきたいシミュレーション**です。

今回は、その教材を用いた研修の一部を体験できる機会を設けました。大変お忙しいこととは存じますが、ご取材いただければ幸いです。



No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	営業本部 東京支社 海山支社	緊急	茨城物流の山岳での搬送について							20xx/02/04 13:45
9	生産本部 立巻製本部長		静岡本社の生産本部の状況及び社員搬送について							20xx/02/04 13:43
8	生産本部 浜松工場 沼田副工場長		浜松工場の沼田より代理報告							20xx/02/04 13:40
7	生産本部 三重工場 金木工場長		【情報】2人の捜索について							20xx/02/04 13:37
6	生産本部 鳥取工場 尾下工場長		状況報告と他工場への支援についてのお願い							20xx/02/04 13:34
5	生産本部 浜松工場 原本工場長		浜松工場の原本です。有給休暇で自宅から							20xx/02/04 13:32
4	営業本部 東京支社 海山支社		浜松工場の情報収集依頼							20xx/02/04 13:29
3	生産本部 三重工場 金木工場長		三重工場より 従業員約20名と不明者発生、指示願います							20xx/02/04 13:28
2	生産本部 鳥取工場 尾下工場長		【鳥取工場】避難状況の報告							20xx/02/04 13:25

＜東京開催＞ 2019年2月27日（水）14：00～17：00 （定員：30名）

場所＞ インバスケット研修センター（タイム24ビル17階）

東京都江東区青海2-4-32

＜大阪開催＞ 2019年3月7日（木）14：00～17：00 （定員：20名）

場所＞ 本町・センタービル館B1F（1号室）

大阪府大阪市中央区本町2-6-1

※どちらの会場でも、記者の方にも画面をご覧いただけます

【詳細】 https://www.inbasket.co.jp/contact/panicinbasket_experience.html

【概要】 ▼本シミュレーション教材が開発された背景、教材の活用方法、本シミュレーション教材の詳細やBCPに関する説明をします。

▼30分間でシミュレーション教材を実施していただきます。

南海トラフ地震を想定した内容で、全国に支社を持つ企業の災害対策本部の一員になりきって、各拠点からの要請や相談に対し、判断を迫られます。



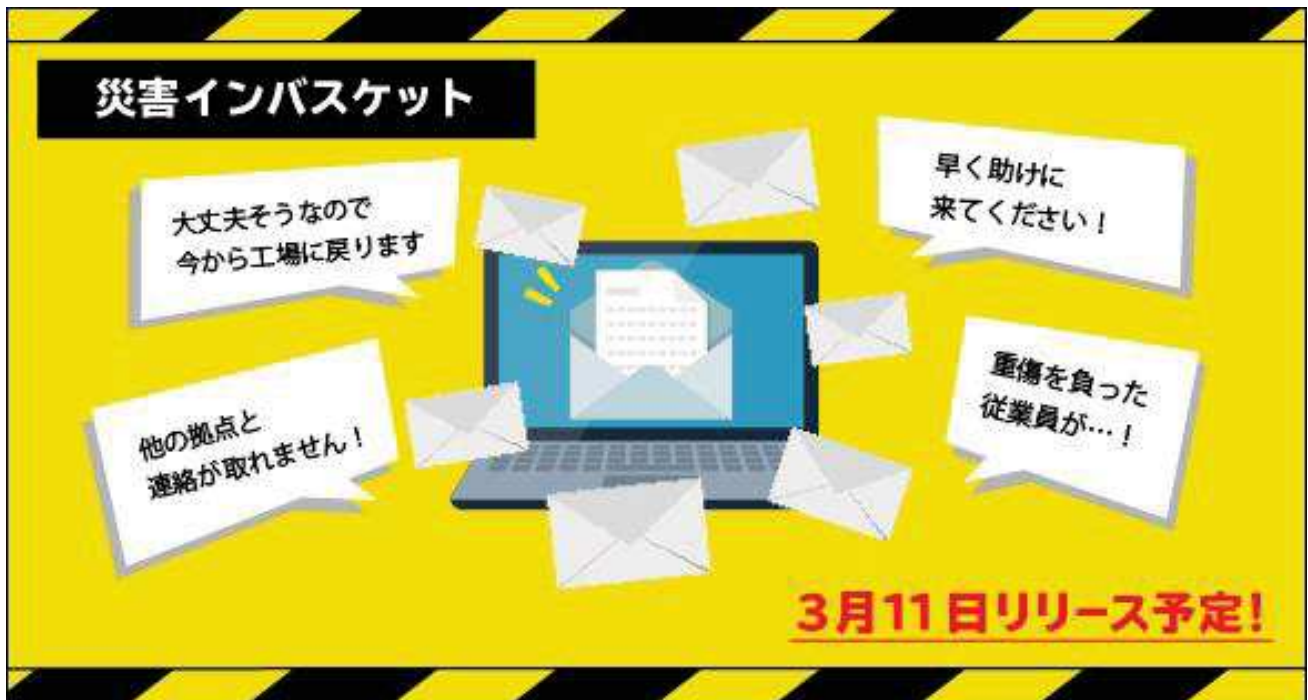
株式会社インバスケット研究所 大阪本社（代表取締役 鳥原 隆志）

〒599-8237 大阪府堺市中央区深井水池町3152 KU深井オフィスビル4階

TEL： 072-242-8970 / FAX： 072-242-8960 / houjin@inbasket.co.jp

◇広報担当者 唄(ばい) 麻里絵 / ◇営業担当者 岸本 昌也

<出題されるシミュレーションの例>



件名：【鳥取工場】避難状況の報告

鳥取工場は全員ケガもなく無事で、先ほどの連絡後、屋外に避難しております。余震も大きなものはなく、問題なさそうなので、規定どおりこれから工場内に戻ります。

件名：けが人の発生と搬送について

組み立て工場の設備の倒壊で、たった今、重傷を負った従業員が6名いることが分かりました。救急車を呼ぼうとしているのですが、電話がつながりません。そこで、我々だけで、工場の自動車ですべて病院に運ぼうと思います。班長の一人を同行させます。

件名：浜松工場の沼田より代理報告

建物からの避難を指示し、現在、私は緊急避難先の駐車場にいます。ポケット Wi-Fi を利用して連絡していますが、バッテリーは15時までしかもちません。すぐに返事をいただきたいことが3つあります。

上記のような案件が、30分間に20問、実際のメールのようにパソコン上に現れます。受講者は、それらの案件に、素早く・的確に判断し、回答していかねばなりません。どの案件から手をつけるのか？どのように回答するのか？その判断の内容から災害時に必要な判断ができていないか、それは命を、会社を、救うことができるのかというシミュレーション教材です。

【 開発の想い『冷静な人もパニックの時はあり得ない判断をする』 】

いかに仕事ができると評価を受けている人でも、本社や上司に頼らずに決断できる人は少ない。これは私たちが過去の震災などから得た教訓です。災害リスクが日々高まっている我が国において、有事の際の準備が万全とはいえません。特に、瞬時の判断や情報の選別、先を見据えた計画立案への備えは起きてみなければわからないという状態になっています。

そこで、インバスケットツールを使って、組織のリーダーや事業所の責任者向けに「災害インバスケット」を開発しました。想像しえない有事を模擬体験し、情報が錯綜する中、大きなストレス下においても的確な判断ができるかを測定し、振り返ることが可能です。また、今回は東北大学の丸谷教授にもご指導を受け、災害の専門家からの意見も併せて確認することができます。

私はこのツールを「自分は大丈夫だ」と思っている企業のリーダーに是非活用していただき、判断に真の自信をつけて頂きたいと考えています。

株式会社インバスケット研究所
代表取締役 鳥原 隆志

(※) 注釈

※1 インバスケットとは

まだ決裁がされていない書類が入った「未処理箱」を意味します。1950年代、アメリカ空軍で導入され、制限された時間内に主人公の立場になりきり、お客様からのクレームや部下からの相談など、どの職場でも起こりうるような**案件を、的確に、かつ迅速に、精度高く処理を行うことができるのかを測る**ビジネスシミュレーションゲームです。

参考： 株式会社インバスケット研究所

<https://www.inbasket.co.jp/inbasket/index.html>

※2 学術指導とは

既存の共同研究契約や受託研究契約では困難であった技術指導、監修、各種コンサルティングなどの産学連携案件について従来の時間外兼業(大学の職務外)ではなく、本務(大学の職務)として対応するものです。

参考： 東北大学 産学連携機構

<http://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/gakujutsu/>

※3 南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の南海トラフ地震(昭和東南海地震(1944年)及び昭和南海地震(1946年))が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。

参考： 国土交通省 気象庁

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>

※4 BCPとは

BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

参考： 中小企業庁

http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/contents/level_c/bcpgl_01_1.html

【 丸谷 浩明 (まるや ひろあき) 教授 】

- ◆現職：東北大学 災害科学国際研究所 教授
(兼 大学院法学研究科公共政策大学院)
- ◆兼務：NPO法人 事業継続推進機構 副理事長
- ◆学位：博士 (経済学) 2008年京都大学より



【 インバスケット研究所 】

◆事業内容

- インバスケット法を用いた個人・法人向け教材開発・販売
- インバスケット法を用いた人材育成、並びに能力開発に関する各種セミナー
- 講習会・研修会の企画・開催、並びに運営・管理
- インバスケット法を用いたヒューマンアセスメントに関する情報、並びにサービスの提供
- マーケティングリサーチ業務、及び経営コンサルタント業務 など

◆主な取引先

株式会社吉野家ホールディングス	グループアカデミー	宮崎県自治研究所
株式会社ノーリツ		茨城県自治研究所
大阪朝日新聞販売協同組合		神戸市役所
医療法人 清和会		三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
早稲田大学 エクステンションセンター		株式会社静岡朝日テレビ
株式会社日経 BP 社 (課長塾)		NTT ファイナンス株式会社

《 講演実績 》

(一社) 全国信用金庫協会	学校法人常翔学園	摂南大学
兵庫県職業能力開発協会	日本食研ホールディングス株式会社	
パナソニックグループ労働組合連合会	SMBC コンサルティング株式会社	
中外製薬株式会社 労働組合	京王電鉄バス株式会社	
(一社) 日本フランチャイズチェーン協会	西日本電信電話株式会社	
福井県庁	みずほ総合研究所株式会社	
公立大学法人 熊本県立大学	NEC グループ労働組合連合会	

他

◆沿革

- 2009年11月 日本初のインバスケット専門機関として「株式会社インバスケット研究所」設立
本社を大阪府堺市深井沢町に置く
- 2011年6月 書籍『究極の判断力を身につける！インバスケット思考』を WAVE 出版より発売
- 2012年5月 書籍『究極の判断力を身につける！インバスケット思考』がビジネス書大賞 2012
書店賞を受賞
- 2013年4月 東京都港区新橋に「東京オフィス」を開設
- 2013年6月 三井住友海上プライマリー生命保険株式会社様と業務提携、共同開発を発表
- 2013年12月 大阪府堺市深井水池町に本社を移転
- 2015年6月 第1回「判断力検定試験」実施
- 2016年5月 東京オフィスを東京本社とし、東京都江東区へ移転
- 2017年11月 WEB インバスケット提供を開始

また、弊社代表 鳥原隆志の執筆本は 40 冊以上あり、
累計発行部数は 70 万部以上に及ぶ。

